

No.54

令和7(2025)年8月1日発行

主な内容

特集「地域のこれからを考える」
～地域おこし協力隊と行政の声～
……………2～3

皆さんの声を議会へ
(一般質問)……………4～7

主な議決結果……………7

傍聴してみませんか……………8

たきかわ 市議会 だより

「たきかわ市議会だより」をアプリで読めます！



マチイロで検索 (iOS・Android 対応)



～滝川陸上自衛隊市中パレード～

今年で創立70周年を迎えた自衛隊滝川駐屯地。
ペルロードで盛大な市中パレードが行われました。
人々の生活を守り、共に歩む熱い眼差しは、
今も変わらずここに 있습니다。



(令和7年)



(昭和37年)

特集 地域のこれからを考える

～地域おこし協力隊と行政の声～

全国的に人口減少や高齢化が進む中、都市部から地方に人材を呼び込み、地域力の維持・強化を図る仕組みとして「地域おこし協力隊制度」があります。滝川市では現在、6人の協力隊員が地域で活動しています。今回はそのうち4人の協力隊員と行政担当者にインタビューを行い、制度運用上の課題、そしてこれからの地域づくりのヒントを探ります。

地域おこし協力隊とは？



地域の未来を応援するために都市部から地方に移住して地域の活性化に取り組むもので、マンパワーを活かして観光や地場製品の魅力を伝えたり、農林水産業への従事など、様々な地域協力活動を展開しながら、その地域への定住・定着を期待するというものです。協力隊員の任期は最長3年間です。

“受け入れ側”が語る現状の課題と思い

協力隊の受け入れについて、行政側が感じる課題や現状を担当者にお聞きしました。

課題

- 生活面での不安や
悩みを改善してい
く必要がある。
- 地域のコミュニティ
に溶け込んでもら
うことが大切。
- イメージと実際に活動する際の
ギャップを減らす必要がある。
(本市では定住率が約30%)

思い

- 「おためし地域おこし協力隊」制度の活用
により着任後のギャップを減らしたい。
- 住まい探しや生活にかかわる事業者の紹介な
ど、少しでも生活面での不安を取り除きたい。

*** 新たに着任された協力隊員をご紹介します！ ***



いとう あきこ
伊藤 明子 さん

文化・芸術活動コーディネーター
着任時期：2025年4月～

- 協力隊に応募したきっかけ
2001年から18年間、滝川市民ミュージカル等に
演出家として携わりました。文化センター閉鎖後
滝川での活動は途切れましたが、市ホール建設の
話を聞いてぜひまた関わりたいと思い応募しました。
- 現在の活動
國學院短大の授業にオブザーバーとして参加し
ています。また、市民と一緒に文化を語るだれも
が集まれる場「みんくるうむ」を毎月開催してい
ます。
- 今後やってみたい取り組み
これからは市内高校の演劇部や、演劇集団の森
組さん等とも交流をしていきたいと思っています。
また、過去に滝川で行ったミュージカル「シレニ
アのうた」の復活や、演劇・歌・踊りなどの野外
フェスティバルをやりたいと思っています。



ところ ゆうた
所 祐太 さん

観光推進員
着任時期：2025年3月～

詳しくはこちら→
観光課Instagram



- 協力隊に応募したきっかけ
高校時代から実演販売などのPR活動が好きで、い
つか仕事にできたらいいなと思っていました。何か新
しいことをしたいという思いがあり、30歳の節目で前
職を辞め、協力隊に応募しました。
- 現在の活動
SNSでのPR活動や、スタンプラリーのデザイン
や企画など、市の各イベントのお手伝いをしています。
挑戦したいことを尊重してくれ、全面的にフォローし
ていただけるので他の協力隊員と何かできることがな
いか模索しながらとても楽しく活動しています。
- 今後やってみたい取り組み
SNSのフォロワー1万人を目指し、引き続き活発
な情報発信と、イベントの企画もしてみたいと思いま
す。滝川に住み続け、「滝川といえば」ですぐに思い
浮かんでくるような人になりたいと思います。

現役協力隊員の現場の声



いせ りょうすけ
伊勢 良介 さん

着任時期 2023年4月～
(3年目)

詳しくはこちら



滝川クラフトビール工房
Instagram



あかり
燈珈琲店
Instagram

・現在、どのような活動に取り組んでいますか？

クラフトビール工房でビールの醸造、^{あかり}燈珈琲店でクラフトビール販売、イベント等でPR・出店をしています。

・現在の活動でのやりがいや、今後力を入れたい活動などがありますか？

クラフトビールの製造を含め、燈珈琲店の店舗運営を通じて地域の人と関わることで、イベントなどに誘っていただく機会が増えたことなど、地元の人々とのつながりや、地域に溶け込んでいる実感があり、やりがいを感じています。

協力隊の企画でクラフトビールの新商品の販売を開始したので、今後は積極的にPRしていきたいと思います。

・移住をしてきて、滝川市の印象はどうですか？

移住をして2年が経ちましたが、地域資源はあるのに、情報発信が弱く、市の制度や取り組み、どこに力を入れているまちなのかが、市民にあまり伝わっていないと感じます。情報を自ら探しに行かなくても、自然と届くような仕組みづくりが必要だと思っています。

・着任にあたって困ったことはありますか？

移住をしてすぐ、保育所の入所など、主に子育てに関することで苦労しました。協力隊員の中には、家族連れで移住する方も多いと思いますので、子育てに関する支援制度を改善し、広く情報発信することで、移住や任期後の定住につながると思います。また、公園の整備が充実すれば、特に子育て世帯にとってより住みやすいまちになると思います。

・移住をしてきて、滝川市の印象はどうですか？

農業を始めるために移住してきた当初、地域の皆さんが温かく歓迎してくれ、驚いたのを覚えています。地域の交流も活発で、人間関係もとても良く、自分もこの中に溶け込んでいきたいという思いを持ちました。地域の農家仲間の皆さんとは函館に旅行したこともあります。

・活動を振り返って、制度面や自身の課題として見つかったことはありますか？

自分の課題は、任期終了後に農家として暮らしていくための営農計画を立て、実行していくことです。ただ、その計画を数字で表すのが難しく、扱う金額も大きいため苦労しています。1年目は作業を覚えるだけで満足してしまい、先を見据えた準備ができなかったことを反省しています。

制度への不満は特にありません。農大研修に参加させていただいたり、免許取得の支援を受けられたりと大変助かっています。

・農業分野で地域おこし協力隊をやってみたい方へ向けて一言お願いします。

個人事業主なので、何か課題が見えてきたときに、自分で責任を持って乗り越える力が必要ですが、市農政課や農協、地域の農家仲間など、相談や頼れる人がたくさんいるので安心です。大変なことはたくさんあると思いますが、何事にも強い気持ちを持って取り組んでほしいなと思います。



すぎした れい
杉下 怜 さん

着任時期 2023年4月～
(3年目)

詳しくはこちら→

杉下さんInstagram



求められる支援

- コミュニケーションの確立。
- プッシュ方式による制度や取り組みの情報提供。
- 子育て支援政策の充実と情報発信力の強化。

伺ったお話から、まちに新しい風を吹き込む熱意ある協力隊員の姿や、それを支える行政の課題が見えてきました。今回いただいた貴重な感想やご意見を基に、今後も市民の皆様と一緒に、政策議論や提案に活かしてまいります。

取材にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



皆さんの声を議会へ

本市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関からの報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、13名の議員が質問しました。

質問者	質問項目
木下八重子 (会派清新)	熊対策 江部乙地域農村部の防犯 声の広報
三上 裕久 (公明党)	介護従事者の人材育成と確保 滝川市立病院の病床数 市立小学校の開門時間
寄谷 猛男 (日本共産党)	文化ホールの建設 自衛官等の募集事務に係る対象者情報の提供 加齢性難聴に対する支援策 滝川西高等学校における学校図書館の整備充実
安樂 良幸 (新政会)	企業誘致 外客誘致 滝川市営球場女性トイレの改修
荒木 文一 (市民ネットワーク)	下水道事業
高橋江海子 (会派清新)	市営バスの運行 公共施設の整備 ワクチン助成 保活 滝川市の未来を担うこどもの子育て・子育て環境づくりに関する条例 地域おこし協力隊 青少年健全育成
藤田 哲也 (市民ネットワーク)	E BPMの導入による政策立案プロセスの変化と今後の展開 見えない負債への対応と財政健全性の真の確保 市の組織硬直化と人材配置の柔軟性の確保 財政制約下における公共サービスの優先順位と市民参加型合意形成
好川 章 (新政会)	民生委員・児童委員 認知症対策の取り組み 物忘れ専門外来の設置
福井 雅章 (新政会)	文化施設複合化事業 訪日旅行者の取り組み 各団体に対する補助金等 医師の確保・働き方
荻野 仁史 (市民ネットワーク)	宿泊税の導入 滝川ふれ愛の里におけるレスパイトケア事業の進捗状況 旧硬式テニスコート跡地の活用
山口 清悦 (新政会)	ふるさと納税 Jクレジットの販売 宿泊税の導入 市内循環バスの車両広告及び停留所命名権の募集 移住促進政策 冬期間の市有地及び民間の遊休地の活用 空き地及び空き家対策 高齢世帯の見守り・介護対策 5歳児健診 病床数適正化支援事業 不登校の児童生徒対策
田村 勇 (新政会)	固定資産税 滝川市立病院の経営
柴田 文男 (会派清新)	持続可能なまちづくり

第2回定例会 一般質問から

熊対策について



木下八重子（会派清新）



問 熊の目撃情報が江部乙地域周りで多発している。現在の対応と今後の対策について伺う。

答 鳥獣被害対策実施隊では、通報があった際の現地調査のほか、早朝・夕方のパトロール、市公式LINEや看板設置による注意喚起などを行っています。今後は、市民の意識啓発を図るための市民セミナーの開催や関係機関の役割分担や調整事項を整理し連携強化を図る机上訓練を実施する予定です。

問 音声録音されたカセットテープを貸し出している「声の広報」について、ホームページでの音声配信やラジオ放送など、他の媒体の活用を検討してはどうか。

答 録音機器の整備やホームページを改修する費用も生じるため、活用方法と費用を併せて検討していきます。

市民生活の安心安全対策について



三上 裕久（公明党）



問 介護従事者の需給推計を伺う。

答 75歳以上の高齢者は、本年3月末時点の7,854人から今後5年間で708人増の8,562人になると予測しています。また、2040年時点では需要推計数764人にに対し、供給推計数は603人で、介護職員が161人不足すると推計しています。

問 滝川市立病院の病床削減による市民サービスへの影響を伺う。

答 現状、一定程度の余裕を持った病床数としており、今後適正規模の病床数に転換した場合でも市民の皆様にご迷惑やご不便をおかけしないと考えています。

問 児童の安全確保の観点から小学校の開門時間を早めるべきと考えるが見解を伺う。

答 天候不良や不審者出没情報などの状況に応じて開門時間を早めるなど柔軟な対応に努めています。

旧文化ホール等の活用について



寄谷 猛男（日本共産党）



問 駅周辺地区再生整備事業の再開を目指すにあたり旧文化ホールを再利用する考えはあるか。旧文化ホール、たきかわホールの見学会または内部状況が分かる写真の開示など市民、文化団体が事業再開の方向性を探るための判断材料の提供について伺う。

答 駅前交流施設からホール機能を切り離す考えはありません。また市内部では判断するためのベース部分を整理しているところです。

問 認知症や介護予防の対策として補聴器購入を行う場合の支援策の検討について考えを伺う。

答 今年度末頃から第10期滝川市高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画の策定に取りかかり、介護予防の取り組みとしてのニーズ、有効性、優先度等を踏まえて今後検討していきます。

企業誘致について



安楽 良幸（新国会）



問 令和7年度の企業誘致活動の方針及び具体的な施策など市の考えについて伺う。

答 本市の現状における企業誘致の重点的な対象分野としては、滝川市基本計画において、地域特性を活かし高い付加価値を創出すると見込まれる「航空宇宙関連分野」「物流関連分野」「農業・食料関連産業」を位置づけており、これらの分野を重点的に企業誘致を推進し、地域経済の活性化を目指します。現在、Letara株式会社が本市に進出し、航空宇宙産業をはじめとした成長発展が期待される産業の集積を図るべく取り組みを推進しています。これに合わせ、本年3月及び4月から企業立地に向けた2つの助成金制度を創設し、新たな企業の市内進出を促進しているところです。

下水道事業の今後について



荒木 文一（市民ネットワーク）



問 敷設50年を経過し老朽化した下水道管の割合が本市で5.2%と報道されたことについて伺う。

答 空知管内で岩見沢市に次いで2番目に早く事業に着手し、整備を進めた経過があり、近隣自治体よりも比率が高くなっています。

問 下水道管の維持管理をどのように実施しているのかを伺う。

答 カメラ調査、管渠清掃、接続部の強化・改良、内面への新管構築など、埼玉県事故発生以前から予算措置を行い、実施しています。

問 過疎化による下水道の使用料収入が減少する中で全市的な管渠更新は現実的なのかを伺う。

答 優先順位をつけながら修繕や更新を進め、改築費用の平準化に努めますが、事業運営上の支障が想定される場合は、適切な使用料の検討が必要と考えています。

若年層を取り巻く環境整備について



高橋江海子（会派清新）



問 冬季は市営バスの最終便が早く、塾や部活帰りの送迎が保護者の負担となっている。冬季限定の増便等が検討できないかを伺う。

答 乗務員不足や他の公共交通との接続等、課題が多くあるため増便等は困難な状況です。今後も安定したサービス水準の確保に努めます。

問 市庁舎内のフリーWi-Fiのエリア拡大の可能性について伺う。

答 利便性向上が図られるため、図書館等への設置を検討します。

問 地域の防犯及び青少年の健全育成の観点から、夕方の帰宅を促すために学校のチャイムを活用できないか見解を伺う。

答 学校のチャイムは原則学校活動のために使われており、聞こえる範囲も限定されることから、地域に向けた活用は想定していません。

第2回定例会 一般質問から

見えない負債への 対応について



藤田 哲也（市民ネットワーク）



問 “見える負債”だけでなく、インフラ老朽化や人口減少といった将来的な“見えない負債”への備えも重要と考える。こうしたリスクを踏まえ、財政の健全性と市民の信頼をどのように維持・強化していくのかを伺う。

答 引き続き事業の取捨選択をする中で効果的、効率的な財政運営を行っていきます。

問 限られた財源の中で、持続可能な公共サービスのあり方や重点分野について、市民とどのような対話・合意形成の仕組みを考えているのかを伺う。

答 各種まちづくりの推進に当たり、都度効果的な対話手法を選定し、市民のご意見をいただくよう努めていきます。今後についても、市民ニーズや時勢に応じた対話手法の検討を進めていきます。

物忘れ専門外来の 設置について



好川 章（新国会）



問 市立病院の精神神経科で「もの忘れ検査入院」が実施されているが、「専門外来」を設置することについて市の考えを伺う。

答 現在、精神神経科医師が2名派遣されていますが、専門外来の設置には医師の増員等が必要なため、難しいと考えています。

問 認知症サポーター「チームオレンジ」と、活動の一つである「畑楽」について伺う。

答 「チームオレンジ」は認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座を受講した方と認知症ご本人がメンバーとなり、安心して暮らせる地域づくりを目指して活動しています。「畑楽」は畑作業を通じて認知症ご本人の外出や健康づくりの機会となり、作物を収穫することがやりがいと達成感につながります。

補助金と医師不足 について



福井 雅章（新国会）



問 不安のない市民生活の実現に向け、各団体に対する補助金も見直すべきと考えるが、今後のあり方について伺う。

答 将来の財政需要を見据えながら補助の必要性や妥当性を精査し、時代のニーズを踏まえた事業の見直しなど必要な対応を行っていきます。

問 市は医師の確保に苦慮しているが、今年度の中途採用・退職などを加味した来年度の人員増減見込みについて伺う。

答 今後の人員増減の確定情報は持ち合わせていませんが、現在の医師数がさらに減ることのないよう医歯大学への働きかけを行うほか、医師紹介会社を活用するなど、連携や提案を積極的に行い、採用につなげていきたいと考えています。

宿泊税の導入に ついて



荻野 仁史（市民ネットワーク）



問 宿泊税は、観光振興を目的に宿泊者を対象に課税されるものであり、市の貴重な財源となり得ると考える。導入に向けた議論を進めていくべきだと思うが、市の考えを伺う。

答 本市においては、一定の宿泊者数があることから、ある程度の税収は見込めると推測しています。一方で、導入に伴うシステム改修や管理体制の構築も必要となってきます。また、宿泊施設側は宿泊税分を価格に転嫁せざるを得なくなるため、導入をしていない周辺地域の宿泊施設へ利用客が流れるなど、影響を受けることも想定されます。そのため、十分な議論が必要であり、導入を即時に検討する段階ではないと考えており、今後、慎重に判断していきたいと考えています。

市の歳入の増収に ついて



山口 清悦（新国会）



問 4月から市内バスの運行が始まった。全国でバス車両を使った様々な企業PRが実施されている。また、札幌地下鉄や市電では停留所の命名権を公募して歳入の増収を図っている。本市の見解と今後の展開について伺う。

答 運賃以外の広告等の収入については、今後調査研究をし、制度導入に向け前向きに検討していきます。

問 5歳児健診の実施に対する市の考えを伺う。

答 5歳児健診の実施により、発達の特性に対する早期発見、早期支援体制の充実を図ることができると考えています。今後も関係する部署と健診後の受け皿としての支援体制の強化等、課題を整理し協議・検討をしていきたいと考えています。

滝川市立病院の 経営について



田村 勇（新国会）



問 新人職員の育成方法、意見箱による意見等や若い職員からの苦情の取扱いについて、現状を伺う。

答 各種研修に加え、先輩看護師が個別に技術指導をしています。意見箱による意見等は関係部署内で共有し、市民・職員を問わず身体的・肉体的暴力に関するものは事務部が対応しています。

問 被害を受けた職員が報復を恐れ泣き寝入りをしていると聞き及んでいるが、真実を伺う。

答 ハラスメントではない事実関係の報告が1件ありましたが、その他の報告は現状ありません。

問 働かない医師への対応を伺う。

答 人事権は一部ありますが、市長として医師の勤務状況等について把握する部分は非常に少なく、人事権を行使する認識は持っていません。

持続可能なまちづくりについて



柴田 文男（会派清新）

問 本年4月30日現在の本市の人口は36,181人で、ピーク時の昭和58年（1983年）に比べ、30%以上減少し、市政運営への影響は顕著なものとなっている。後世に負の遺産を残さないためにも現時点で直接的な対策を打たなければならない。市の考えを伺う。

答 様々な対策をスピード感を持って打つ必要があります。中空知における滝川市の役割としてサービス産業の集積をさらに拡大させるとともに、誘致企業などとの連携強化、特に航空宇宙産業など先端産業への支援やスカイパークの積極的活用を図り、外部人材の取り組みを強化します。そして、都市機能を維持・強化するため、医療（病院機能）や上下水道、廃棄物処理などの広域的な取り組みを強化していきます。

令和7年第2回臨時会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	専決処分について（滝川市税条例の一部を改正する条例） 地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴う改正です。	報告承認
議案第1号	令和7年度滝川市一般会計補正予算（第1号） 下水道事業会計の補正に伴う下水道事業会計負担金の減額のための補正と、厚生労働省のマイナンバー情報連携体制整備事業費補助金及び子ども家庭庁の母子保健衛生費補助金を活用して行う健康管理システムの改修を行うための補正です。	原案可決
議案第2号	令和7年度滝川市下水道事業会計補正予算（第1号） 雨水管カメラ調査事業の財源振替を行うための補正です。	原案可決
議案第3号	滝川市税条例の一部を改正する条例 地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴う改正です。	原案可決

令和7年第2回定例会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	令和6年度滝川市一般会計予算繰越明許費の繰越しについて	報告済
報告第2号	令和6年度滝川市下水道事業会計予算の繰越しについて	報告済
報告第3号	一般財団法人滝川生涯学習振興会の経営状況について	報告済
報告第4号	監査報告について	報告済
報告第5号	例月現金出納検査報告について	報告済
議案第1号	令和7年度滝川市一般会計補正予算（第2号） 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を受けて行う定額減税補給付金（不足額給付）の給付、北海道のスマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業費補助金を受けて行う農業支援サービス事業体に対しスマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート緊急対策事業補助金の交付、公共工事設計労務単価の改定に伴う道路維持補修管理等委託料の増額、公共工事設計労務単価の改定及び除排雪機械に係る燃料消費量の見直しに伴う除雪等委託料の増額、公共工事設計労務単価の改定に伴う流雪溝の管理等委託料の増額、凍上対策拡充に伴う工事請負費の増額、公共工事設計労務単価の改定に伴う河川の補修委託料の増額、公共工事設計労務単価の改定に伴う公園の管理等委託料の増額、文部科学省の高等学校等デジタル人材育成支援事業費補助金を受けて行う高等学校DX加速化推進事業の実施などのための補正です。	原案可決
議案第2号	令和7年度滝川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 高額療養費制度「低所得者Ⅰ」区分の判定基準額改定に伴うシステム改修を行うための補正です。	原案可決
議案第3号	滝川市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例 離島振興法第20条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令等の一部を改正する省令の施行に伴う改正です。	原案可決
議案第4号	滝川市における子ども・子育て支援法第82条の規定に基づく過料に関する条例の一部を改正する条例 子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正です。	原案可決
議案第5号	副市長の選任について 中島 純一さんが再任されました。	原案同意
議案第6号	財産の取得について ○小型ロータリー除雪車(1.5m/900 t 級) 1台	原案可決
議案第7号	議員の派遣について	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について 丸山 健さんが推薦されました。	可と答申
意見書案第1号	持続可能な学校の実現をめざす要望意見書	原案可決
意見書案第2号	インターネット上の不適切な広告に関する規制強化を求める要望意見書	原案可決
意見書案第3号	米価の抑制及び米の安定供給を求める要望意見書	原案可決
意見書案第4号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める要望意見書	原案可決

令和7年第3回臨時会議決結果

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	令和7年度滝川市病院事業会計補正予算（第1号） 厚生労働省の「看護現場におけるデジタルトランスフォーメーション効果検証事業」に滝川市立高等看護学院が選定されたことに伴い、同事業で使用するICT機器等の購入のための補正です。	原案可決
議案第2号	工事請負契約の締結について 新B&G海洋センター新築工事に係る工事請負契約の締結です。	原案可決

議員の表彰

次の方が全国市議会議長会の表彰を受けました。

議員在職 10年以上 表彰

安樂 良幸

(令和7年5月20日受彰)

気軽に！手軽に！ ネット中継！！

滝川市議会では、YouTube（ユーチューブ）により会議の様子をインターネット上で配信しています。視聴される場合は、「滝川市議会YouTubeチャンネル」をクリックしてください。



議会ミニニュース



議会運営の効率化と経費節減を図るためのペーパーレス会議システムの導入にあたり、3事業者によるプレゼンテーションを5月26日(月)に実施し、優先交渉事業者を決定しました。本年10月から一年間の試行運用（紙媒体とデジタルデータの併用）を行い、利用上の問題を検証していきます。

傍聴してみませんか

令和7年第3回滝川市議会定例会
開催予定日をお知らせします。



日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2	3	4	5 本会議	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17 本会議 一般質問	18 本会議 一般質問	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

※矢印は会期を示します。

開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認してください。

問い合わせ 議会事務局 ☎28-8048

編集後記

今回は特集記事の担当委員として、市内各所で地域おこし協力隊についてインタビューを実施。一般質問との両立が大変でしたが、制度の仕組みや数字だけでは見えにくい現場の声に耳を傾けることで、人との繋がり大切さと、果敢に挑戦する姿勢の尊さを改めて感じ、元気をもらいました。外からの視点が地域にもたらす気づきや変化は、まちづくりにとって大変重要です。その貴重な存在を、どう支え、どのように活かしていくか。私たちは考えていかなければいけません。

今回得られた実情を今後の政策提言に活かし、持続可能なまちづくりにつなげていきたいです。立秋を目前に、まちに吹く風にも新たな兆しを感じています。

たきかわ市議会だより編集委員会
委員 高橋江海子

発行責任者 滝川市議会議長 山本 正信